

R7の方向性

○ **大阪・関西万博に向けた関係機関と連携した利用促進事業の推進**

大阪・関西万博を誘客のチャンスと捉え、地元自治体と沿線関係団体、JR西日本等が一丸となった効果的な事業を実施することにより、JR加古川線の更なる利用促進につなげる。

※実施団体

- ・JR加古川線（西脇市駅～谷川駅）維持・利用促進地域協議会〔黒田庄まちづくり協議会、比延地区自治協議会、久下自治振興会〕
- ・JR加古川線（西脇市駅～谷川駅間）利用促進協議会〔西脇市、丹波市、北播磨県民局、丹波県民局〕

○ **鉄道利用の気運醸成と利用促進への支援**

学生の通学、沿線企業従業員の通勤などの日常利用促進や、地域住民が主体となった駅周辺の賑わいづくりに対する支援を通じて、鉄道利用の気運醸成と継続した利用促進につなげる。

○ **イベント等の連携・情報発信等協力体制の強化**

各団体が実施するイベント等での相互連携、他の団体の取組とのコラボ、チラシの配布、記者発表等の協力体制を強化する。



令和7年度の取組（一覧）

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
【新】貸切列車の運行	フィールドパビリオンを巡る貸切列車を運行し、北播磨地域と丹波地域への誘客を促進する。	8,000千円 (各2,000千円)	JR加古川線（西脇市駅～谷川駅間）利用促進協議会		●	
【新】空飛ぶランタンの実施	駅周辺で、加古川線への思いや願いを書いたランタンを夜空に打ち上げるイベントを実施する。				●	
【新】車内中づくり広告の掲示及び鉄道利用促進の呼びかけ	地元高校生等の協力により作成した「播州織中づくり広告」をJR加古川線車内へ掲示し、JR加古川線の利用促進を呼びかける。			●	●	
【新】啓発資材の作成	加古川線に関連したポスターやグッズなどを作成し、利用促進の啓発、PR資材として活用する。			●	●	
【新】JR加古川線利用促進PR	〈イベント来場者等への啓発〉 「西脇市茜が丘複合施設Miraie（みらいえ）」のイベントに来場された方約200名にチラシを配布し、JR加古川線の利用を呼びかけた。 ・イベント名 「あそびマルシェ」 ・実施時期 5月3日（土・祝） ・場 所 西脇市茜が丘複合施設Miraie	—	西脇市、丹波市、北播磨県民局、丹波県民局			
	〈新聞折込での啓発〉 「加古川線増発時刻表」と「市民向け利用補助案内」を掲載したPRチラシを、西脇市、丹波市に新聞折り込みし、利用促進事業をPRした。 ・実施時期 5月31日（土）朝刊 ・実施世帯数 1.8万世帯	253千円		●	●	

令和7年度の取組（一覧）

資料 2

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
【新】路線を丸ごとテーマパーク化！ 新たな観光需要の創造による 加古川線利用促進事業	恐竜、播州織にまつわるラッピング列車の運行、車両内や沿線施設などで恐竜ARを獲得できる恐竜探しイベント、加古川線等検定ページを作成するなどにより、誘客促進を図る。	6,000千円	JR加古川線（西脇市駅～谷川駅間）利用促進協議会		●	
「JR加古川線 リレーマルシェ」の開催	〈リレーマルシェ×山田錦日和〉 北播磨地域が誇る酒米の王者「山田錦」を使った日本酒の飲み比べや、関連商品の販売イベントを山田錦日和実行委員会等と共同開催する。 ・実施時期 7月26日（土）16時30分～20時 ・場 所 日本へそ公園駅前	1,200千円	比延地区自治協議会 山田錦日和実行委員会 北播磨県民局	●	●	
	〈へそマルシェ〉 JR加古川線などをテーマにした謎解き企画やワークショップ、お酒やグルメなどのマルシェを開催する。 ・実施時期 8月9日（土）16時30分～20時 ・場 所 日本へそ公園駅前	2,000千円	JR加古川線・神戸電鉄 粟生線・北条鉄道利用 促進協議会	●	●	
	〈久下村夜市〉 久下村駅等の駅前広場等において、キッチンカーや屋台の出店によるマルシェを開催する。 ・実施時期 8月22日（金）16時30分～20時 ・場 所 久下村駅周辺	1,479千円	久下自治振興会・丹波 県民局	●	●	
わが町考え隊事業の推進	わが町考え隊（hesocityclub）を中心に、SNSによる情報発信、ワークショップ等住民参加型イベントの開催等、地域活性化策を展開する。	700千円	北播磨県民局 hesocityclub(hcc)	●	●	

令和7年度の取組（一覧）

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
【新】「北播磨かんきょうフェスタ」の開催	JR加古川線を利用してもらい子どもたち楽しく環境に親んでもらうイベントを開催した。 ・実施時期 6月8日（日） ・場 所 日本へそ公園及び日本へそ公園駅前 ・実施結果 来場者約900名 （うち鉄道利用者約180名）	1,000千円	北播磨県民局 西脇市		●	
【新】環境学習列車の運行	久下村駅等を発着とし、丹波地域の生物多様性や森林環境を学ぶことにより、加古川線の更なる利用促進に繋げる。 ・開催回数 年1回実施 ・実施場所 丹波の森公苑（予定）	1,504千円	丹波県民局		●	
JRローカル線駅周辺活性化モデル事業（県・市町協調事業）	駅周辺の活性化により鉄道の利用促進を図る団体等の活動費の一部を助成する。	800千円	兵庫県、西脇市、丹波市		●	●
通学定期券購入補助事業	通学定期券を購入する市内在住の学生に対し購入費を助成する。	2,982千円	西脇市、丹波市	●		
【新】通勤定期券購入補助事業	通勤定期券を購入する市内在住・在勤の者に対し購入費を助成する。	1,425千円	西脇市、丹波市	●		
定期券購入者への自転車貸出事業	通勤・通学定期券購入者へ自転車を無償で貸し出し、駅からの二次交通の確保につなげる。	296千円	西脇市	●		
社会学習利用乗車券購入補助事業	小中高校やこども園などがJR加古川線を利用して行う社会学習活動に対し運賃の一部を助成する。	550千円	西脇市、丹波市	●	●	
団体利用乗車券購入補助事業	JR加古川線を団体利用する場合の運賃の一部を助成する。	700千円	西脇市、丹波市	●	●	

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
【新】西脇市制20周年記念事業 JR加古川線イベント列車の運行	市制20周年を契機に地域の公共交通の重要性和JR加古川線沿線の地域の魅力を再認識することを目的に、貸切イベント列車を運行する。	500千円	西脇市		●	
【新】「ぶらり加古川線tabiwa 1 Dayパス」の提示で入館無料	日本へそ公園駅付近にある「岡之山美術館」と「にしわき緯度経度地球館」の入館料を無料にする。 ・実施期間：4月13日（日）～10月13日（月・祝）	－	西脇市		●	
JR加古川線の1日乗り放題切符「ぶらり加古川線tabiwa 1 Dayパス」の購入者を対象	リニューアルオープンする「たんば恐竜博物館」（ちーたんの館）の入館料の無料及びミュージアムショップでのノベルティ配布を実施する。 ・実施期間：7月12日（土）～10月13日（月・祝）	－	丹波市		●	
JR加古川線地域活動活性化事業	地域住民団体が地域団体活性化にかかる事業を実施する。	1,000千円	JR加古川線（西脇市駅－谷川駅）維持・利用促進地域協議会	●	●	
JR西日本アプリ「WESTER」を活用した沿線情報の集約・発信	沿線でのイベント情報等を、JR西日本アプリ「WESTER」のおでかけ情報に掲載し、誘客を促進する。	－	JR西日本、沿線自治体		●	
観光情報誌「西Navi」を通じた地域のイベント情報の発信	JR西日本全エリアの駅に配架されている西Naviを通じて、地域のイベント情報を発信する。	－	JR西日本		●	
加古川線プロモーション動画放映、ポスター掲出	加古川線沿線のお出かけスポットを紹介する広告を近畿地方の駅や車内で実施する。今回は関西空港駅のビジョンで放映。	－	JR西日本		●	

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
沿線行事のPR	沿線行事のポスター・パンフレット等を駅に掲出する。	—	JR西日本		●	
【新】「WESTER」デジタルスタンプラリーの実施	JR西日本アプリ「WESTER」を活用した、駅や対象スポットを巡るスタンプラリーを通じて誘客を促進する。 ・実施期間：4月13日（日）～6月13日（金）	—	JR西日本		●	
【新】利用実態調査	乗車・降車駅、利用者属性について乗り込み調査を実施する。	—	JR西日本	●	●	
【新】加古川線の増発及び特急列車を谷川駅に臨時停車する実証実験	昼間時間帯の列車を増発することで、加古川線（西脇市～谷川駅）の利用が増加するかどうか検証する。併せて、特急こうのとり谷川駅への臨時停車を実施する。 ・実施期間：4月13日（日）～10月13日（月・祝）	—	JR西日本	●	●	
【新】おとな旅あるき旅放送	テレビ大阪の番組で、俳優の三田村邦彦さんがゲストを連れて、加古川線の「オススメぶらり旅」を紹介する。 ・放送日：4月26日（土）	—	JR西日本		●	
【新】「ぶらり加古川線tabiwa 1 Dayパス」の発売	加古川線を1日乗り放題できるデジタルパスを発売する。 ・実施期間：4月13日（日）～10月13日（月・祝）	—	JR西日本		●	
【新】週末開催！西日本じまん市	万博開催期間中にJR西日本と地域が連携し、大阪駅、新大阪駅を舞台に地域の魅力を発信する。	—	JR西日本、沿線自治体		●	

令和7年度の取組（一覧）

資料 2

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
参考：JR加古川線・神戸電鉄粟生線・北条鉄道利用促進協議会事業						
列車内鉄道絵画展	県内の園児・児童を対象に列車や駅をテーマにした絵画を募集し列車内絵画展を開催する。	－	交通事業者、商工会議所、市町、県		●	
鉄道沿線ガイドの作成	鉄道沿線で開催されるイベント等の魅力情報を掲載したガイドを発行する。	－	交通事業者、商工会議所、市町、県		●	
参考：丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進協議会事業						
【新】電動自転車スポット整備による丹波来訪促進事業	春休みやゴールデンウィークに合わせて久下村駅に電動自転車のスポットを整備する。	－	自治体、商工会、観光協会、民間団体等		●	
【新】二次交通の定期運行による恐竜スポット周遊促進事業	大阪・関西万博に合わせて、久下村駅から「ちーたんの館」を結ぶ「グリーンスローモビリティ」の定期運行と電動自動車「トゥクトゥク」の貸出しにより、恐竜化石発見地等の恐竜スポットを周遊する。	－	自治体、商工会、観光協会、民間団体等		●	